

学校コード F123310106568

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の設置

注1

**認可**

注2

金城学院大学 看護学部 看護学科

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人金城学院  
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務担当

職名・氏名 カチヨウ オキタ マキト  
課長 置田 牧人

電話番号 052-798-0180

（夜間） 同上

e-mail setti@kinjo-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人金城学院

## (2) 大学名

金城学院大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒463-8521

愛知県名古屋市守山区大森2-1723

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	トガリ ハジメ 戸苺 創 平成28年1月4日		
学長	コムロ ナオコ 小室 尚子 令和2年4月1日		
学部長	イチカワ セイイチ 市川 誠一 令和4年4月1日		
学科長等	マツウラ リエコ 松浦 利江子 令和4年4月1日		学科主任

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)  
令和4年度に報告する内容 → (4)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	4 年	100 人	なし 人	400 人	新規入学者を募集	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.08倍	-	
志願者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	781	-			
受験者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	750	-			
合格者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	216	-			
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	108	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.08	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	108 [-] (-)	- [-] (-)	
2 年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次			/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4 年次	/				- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	108 [ - ] ( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	108 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{108} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<看護学部看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I 金城アイデンティティ科目	① キリスト教 キリスト教学 (1) キリスト教学 (2) キリスト教学 (3) キリスト教学 (4) 聖書の読み方 現代世界とキリスト教 医療とキリスト教精神 福祉とキリスト教 キリスト教文化入門 いのち・こころ	1前	2								兼1	
		1後	2								兼1	
		2前		2							兼1	
		2後		2							兼1	
		1・2後		2							兼1	
		1・2後		2							兼4	
		1・2前		2							兼1	
		1・2前		2							兼1	
		1・2後		2							兼1	
	1・2後		2							兼1		
	② 女性	1・2後		2							兼1	
		1・2前		2							兼1	
1・2前後			2							兼1		
1・2後			2							兼1		
1・2前後			2							兼1		
③ 世界の多様な文化 国際理解	1・2前		2							兼9		
	1・2前		2							兼1		
	1・2前		2							兼1		
	1・2前		2							兼7		
	1・2後		2							兼6		
II 金城コア科目	④ 英語教育科目 英語コミュニケーションA (1) 英語コミュニケーションA (2) 英語コミュニケーションE (1) 英語コミュニケーションE (2) 英語コミュニケーションF 英語コミュニケーションG	1前	1								兼4	
		1後	1								兼4	
		2前		1							兼1	
		2後		1							兼1	
		2前		1							兼1	
		2後		1							兼1	
	⑤ 外国語教育科目	ドイツ語 (1)	1前		1							兼1
		ドイツ語 (2)	1後		1							兼1
		ドイツ語 (3)	2前		1							兼1
		ドイツ語 (4)	2後		1							兼1
		ドイツ語会話 (1)	1前		1							兼1
		ドイツ語会話 (2)	1後		1							兼1
ドイツ語会話 (3)		2前		1							兼1	
ドイツ語会話 (4)		2後		1							兼1	
フランス語 (1)		1前		1							兼1	
フランス語 (2)		1後		1							兼1	
フランス語 (3)		2前		1							兼1	
フランス語 (4)		2後		1							兼1	
フランス語会話 (1)		1前		1							兼1	
フランス語会話 (2)		1後		1							兼1	
フランス語会話 (3)		2前		1							兼1	
フランス語会話 (4)		2後		1							兼1	
スペイン語 (1)		1前		1							兼1	
スペイン語 (2)		1後		1							兼1	
スペイン語 (3)	2前		1							兼1		
スペイン語 (4)	2後		1							兼1		
スペイン語会話 (1)	1前		1							兼1		
スペイン語会話 (2)	1後		1							兼1		
スペイン語会話 (3)	2前		1							兼1		
スペイン語会話 (4)	2後		1							兼1		
II 金城コア科目	⑤ 外国語教育科目 中国語 (1) 中国語 (2) 中国語 (3) 中国語 (4) 中国語会話 (1) 中国語会話 (2) 中国語会話 (3) 中国語会話 (4) 韓国・朝鮮語 (1) 韓国・朝鮮語 (2) 韓国・朝鮮語 (3) 韓国・朝鮮語 (4) 韓国・朝鮮語会話 (1) 韓国・朝鮮語会話 (2) 韓国・朝鮮語会話 (3) 韓国・朝鮮語会話 (4)	1前		1								兼1
		1後		1								兼1
		2前		1								兼1
		2後		1								兼1
		1前		1								兼1
		1後		1								兼1
		2前		1								兼1
		2後		1								兼1
		1前		1								兼1
		1後		1								兼1
		2前		1								兼1
		2後		1								兼1
	1前		1								兼1	
	1後		1								兼1	
	2前		1								兼1	
	2後		1								兼1	
	教⑥ キャリア開発	キャリア開発A	1前		2							兼1
		キャリア開発C	2前		2							兼1
キャリア開発D		2後		2							兼1	
キャリア開発E		3前		2							兼1	
キャリア開発F		3後		2							兼1	
女性みらい		1後		1							兼1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I 金城アイデンティティ科目	① キリスト教 キリスト教学 (1) キリスト教学 (2) キリスト教学 (3) キリスト教学 (4) 聖書の読み方 現代世界とキリスト教 医療とキリスト教精神 福祉とキリスト教 キリスト教文化入門 いのち・こころ	1前	2								兼1	
		1後	2								兼1	
		2前		2								兼1
		2後		2								兼1
		1・2後		2								兼1
		1・2後		2								兼4
		1・2前		2								兼1
		1・2前		2								兼1
		1・2後		2								兼1
	1・2後		2								兼1	
	② 女性	1・2後		2								兼1
		1・2前		2								兼1
1・2前後			2								兼1	
1・2後			2								兼1	
1・2前後			2								兼1	
③ 世界の多様な文化 国際理解	1・2前		2								兼9	
	1・2前		2								兼1	
	1・2前		2								兼1	
	1・2前		2								兼7	
	1・2後		2								兼6	
II 金城コア科目	④ 英語教育科目 英語コミュニケーションA (1) 英語コミュニケーションA (2) 英語コミュニケーションE (1) 英語コミュニケーションE (2) 英語コミュニケーションF 英語コミュニケーションG	1前	1								兼4	
		1後	1								兼3	
		2前		1							兼1	
		2後		1							兼1	
		2前		1							兼1	
		2後		1							兼1	
	⑤ 外国語教育科目	ドイツ語 (1)	1前		1							兼1
		ドイツ語 (2)	1後		1							兼1
		ドイツ語 (3)	2前		1							兼1
		ドイツ語 (4)	2後		1							兼1
		ドイツ語会話 (1)	1前		1							兼1
		ドイツ語会話 (2)	1後		1							兼1
ドイツ語会話 (3)		2前		1							兼1	
ドイツ語会話 (4)		2後		1							兼1	
フランス語 (1)		1前		1							兼1	
フランス語 (2)		1後		1							兼1	
フランス語 (3)		2前		1							兼1	
フランス語 (4)		2後		1							兼1	
フランス語会話 (1)		1前		1							兼1	
フランス語会話 (2)		1後		1							兼1	
フランス語会話 (3)		2前		1							兼1	
フランス語会話 (4)		2後		1							兼1	
スペイン語 (1)		1前		1							兼1	
スペイン語 (2)		1後		1							兼1	
スペイン語 (3)	2前		1							兼1		
スペイン語 (4)	2後		1							兼1		
スペイン語会話 (1)	1前		1							兼1		
スペイン語会話 (2)	1後		1							兼1		
スペイン語会話 (3)	2前		1							兼1		
スペイン語会話 (4)	2後		1							兼1		
II 金城コア科目	⑤ 外国語教育科目 中国語 (1) 中国語 (2) 中国語 (3) 中国語 (4) 中国語会話 (1) 中国語会話 (2) 中国語会話 (3) 中国語会話 (4) 韓国・朝鮮語 (1) 韓国・朝鮮語 (2) 韓国・朝鮮語 (3) 韓国・朝鮮語 (4) 韓国・朝鮮語会話 (1) 韓国・朝鮮語会話 (2) 韓国・朝鮮語会話 (3) 韓国・朝鮮語会話 (4)	1前		1								兼1
		1後		1								兼1
		2前		1								兼1
		2後		1								兼1
		1前		1								兼1
		1後		1								兼1
		2前		1								兼1
		2後		1								兼1
		1前		1								兼1
		1後		1								兼1
		2前		1								兼1
		2後		1								兼1
	1前		1								兼1	
	1後		1								兼1	
	2前		1								兼1	
	2後		1								兼1	
	教⑥ キャリア開発	キャリア開発A	1前		2							兼1
		キャリア開発C	2前		2							兼1
キャリア開発D		2後		2							兼1	
キャリア開発E		3前		2							兼1	
キャリア開発F		3後		2							兼1	
女性みらい		1後		1							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
Ⅲ金城展開科目	⑦教養科目	文学A	1・2前	2							兼1	
		文学B	1・2前	2							兼1	
		文学C	1・2前	2							兼3	
		史学A	1・2後	2							兼1	
		史学B	1・2後	2							兼1	
		史学C	1・2後	2							兼1	
		哲学A	1・2後	2							兼1	
		哲学B	1・2前	2							兼1	
		倫理学A	1・2前後	2							兼1	
		倫理学B	1・2前	2							兼1	
		地域研究A	1・2後	2							兼1	
		地域研究B	1・2後	2							兼1	
		地域研究C	1・2前	2							兼1	
		地域研究D	1・2前	2							兼1	
		地理	1・2前	2							兼1	
		文化人類学	1・2後	2							兼1	
		宗教学	1・2後	2							兼1	
		日本語学	1・2前	2							兼1	
		日本語表現	1・2前後	2							兼1	
		ロジカルシンキング	1・2前	2							兼1	
		芸術・音楽A	1・2前	2							兼1	
		芸術・音楽B	1・2後	2							兼1	
		芸術・音楽C	1・2後	2							兼1	
		芸術・音楽D	1・2前	1							兼1	
		芸術・美術A	1・2前	2							兼1	
		芸術・美術B	1・2後	2							兼1	
		芸術・美術C	1・2前	2							兼1	
		法学	1・2前	2							兼1	
		日本国憲法	1・2前後	2							兼1	
		政治学	1・2前	2							兼1	
		平和学	1・2後	2							兼1	
		経済学	1・2後	2							兼1	
		経営学A	1・2前	2							兼1	
経営学B	1・2後	2							兼1			
Ⅲ金城展開科目	⑦教養科目	社会学A	1・2前後	2							兼1	
		社会学B	1・2後	2							兼1	
		名古屋学	1・2前	2							兼1	
		心理学A	1・2前後	2							兼1	
		心理学B	1・2前	2							兼1	
		心理学C	1・2前後	2							兼1	
		生活科学A	1・2後	2							兼1	
		生活科学B	1・2後	2							兼1	
		生活科学C	1・2前	2							兼1	
		衣生活学A	1・2後	2							兼1	
		衣生活学B	1・2前	2							兼1	
		食生活学	1・2前	2							兼1	
		住生活学	1・2前	2							兼1	
		健康科学	1・2前	2							兼1	
		生物学A	1・2前	2							兼1	
		生物学B	1・2後	2							兼1	
		環境学	1・2前	2							兼1	
		数学	1・2前	2							兼1	
		統計科学	1前	2							兼1	
		情報学	1・2後	2							兼1	
		薬学	1・2後	2							兼1	
		教職入門	1・2前	2							兼1	
		学校と教育の歴史	1・2後	2							兼1	
		発達と学習	1・2前後	2							兼1	
		教育相談	1・2前後	2							兼1	
		⑧情報教育科目	情報リテラシー	1前	2							兼1
			I T活用A	1・2前後	2							兼1
			I T活用B	1・2前後	2							兼1
			I T活用C	1・2後	2							兼1
			I T活用D	1・2前後	2							兼1
			I T活用E	1・2前	2							兼1
			I T活用F	1・2後	2							兼1
			I T活用G	1・2前	2							兼1
⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズA		1前	1							兼1	
	スポーツ・アンド・エクササイズB		1前	1							兼1	
	スポーツ・アンド・エクササイズC	1前	1							兼1		
	スポーツ・アンド・エクササイズD	1前	1							兼1		
	スポーツ・アンド・エクササイズE	1前	1							兼1		
	スポーツ・アンド・エクササイズF	1前	1							兼1		
	スポーツ・アンド・エクササイズG	2前	1							兼1		
	スポーツ・アンド・エクササイズH	3前	1							兼1		
スポーツ・アンド・エクササイズ講義	2後	1							兼1			
⑩学生プロジェクト	キャリアプロジェクト	1・2通	2							兼1		
	里山プロジェクト	1・2通	2							兼1		
	KIDSセンタープロジェクト	1・2通	2							兼1		
	ボランティアプロジェクト	1・2通	2							兼1		
⑪海外研修科目	海外留学準備講座	1・2前	1							兼1		
小計(157科目)	—	14	242	0	0	0	0	0	0	兼97		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
Ⅲ金城展開科目	⑦教養科目	文学A	1・2前	2							兼1	
		文学B	1・2前	2							兼1	
		文学C	1・2前	2							兼3	
		史学A	1・2後	2							兼1	
		史学B	1・2後	2							兼1	
		史学C	1・2後	2							兼1	
		哲学A	1・2後	2							兼1	
		哲学B	1・2前	2							兼1	
		倫理学A	1・2前後	2							兼1	
		倫理学B	1・2前	2							兼1	
		地域研究A	1・2後	2							兼1	
		地域研究B	1・2後	2							兼1	
		地域研究C	1・2前	2							兼1	
		地域研究D	1・2前	2							兼1	
		地理	1・2前	2							兼1	
		文化人類学	1・2後	2							兼1	
		宗教学	1・2後	2							兼1	
		日本語学	1・2前	2							兼1	
		日本語表現	1・2前後	2							兼1	
		ロジカルシンキング	1・2前	2							兼1	
		芸術・音楽A	1・2前	2							兼1	
		芸術・音楽B	1・2後	2							兼1	
		芸術・音楽C	1・2後	2							兼1	
		芸術・音楽D	1・2前	1							兼1	
		芸術・美術A	1・2前	2							兼1	
		芸術・美術B	1・2後	2							兼1	
		芸術・美術C	1・2前	2							兼1	
		法学	1・2前	2							兼1	
		日本国憲法	1・2前後	2							兼1	
		政治学	1・2前	2							兼1	
		平和学	1・2後	2							兼1	
		経済学	1・2後	2							兼1	
		経営学A	1・2前	2							兼1	
経営学B	1・2後	2							兼1			
Ⅲ金城展開科目	⑦教養科目	社会学A	1・2前後	2							兼1	
		社会学B	1・2後	2							兼1	
		名古屋学	1・2前	2							兼1	
		心理学A	1・2前後	2							兼1	
		心理学B	1・2前	2							兼1	
		心理学C	1・2前後	2							兼1	
		生活科学A	1・2後	2							兼1	
		生活科学B	1・2後	2							兼1	
		生活科学C	1・2前	2							兼1	
		衣生活学A	1・2後	2							兼1	
		衣生活学B	1・2前	2							兼1	
		食生活学	1・2前	2							兼1	
		住生活学	1・2前	2							兼1	
		健康科学	1・2前	2							兼1	
		生物学A	1・2前	2							兼1	
		生物学B	1・2後	2							兼1	
		環境学	1・2前	2							兼1	
		数学	1・2前	2							兼1	
		統計科学	1前	2							兼1	
		情報学	1・2後	2							兼1	
		薬学	1・2後	2							兼1	
		教職入門	1・2前	2							兼1	
		学校と教育の歴史	1・2後	2							兼1	
		発達と学習	1・2前後	2							兼1	
		教育相談	1・2前後	2							兼1	
		⑧情報教育科目	情報リテラシー	1前	2							兼2
			I T活用A	1・2前後	2							兼1
			I T活用B	1・2前後	2							兼1
			I T活用C	1・2後	2							兼1
			I T活用D	1・2前後	2							兼1
			I T活用E	1・2前	2							兼1
			I T活用F	1・2後	2							兼1
			I T活用G	1・2前	2							兼1
⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズA		1前	1							兼1	
	スポーツ・アンド・エクササイズB		1前	1							兼1	
	スポーツ・アンド・エクササイズC	1前	1							兼1		
	スポーツ・アンド・エクササイズD	1前	1							兼1		
	スポーツ・アンド・エクササイズE	1前	1							兼1		
	スポーツ・アンド・エクササイズF	1前	1							兼1		
	スポーツ・アンド・エクササイズG	2前	1							兼1		
	スポーツ・アンド・エクササイズH	3前	1							兼1		
スポーツ・アンド・エクササイズ講義	2後	1							兼1			
⑩学生プロジェクト	キャリアプロジェクト	1・2通	2							兼1		
	里山プロジェクト	1・2通	2							兼1		
	KIDSセンタープロジェクト	1・2通	2							兼1		
	ボランティアプロジェクト	1・2通	2							兼1		
⑪海外研修科目	海外留学準備講座	1・2前	1							兼1		
小計(157科目)	—	14	242	0	0	0	0	0	0	兼98		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
専門教育科目	導入科目	基礎ゼミナール	1前	1			11	4	7			
	看護英語コミュニケーション	生命倫理	1前	1			1	1				兼1
		看護英語コミュニケーション(1)	2前	1								兼5
看護英語コミュニケーション(2)		3前	1								兼5	
専門基礎科目	人の心と身体	看護英語コミュニケーション(3)	4前		1							兼5
		解剖生理学A(人体の構造)	1前	1			2					兼1
		解剖生理学B(人体の機能)	1前	1			1					兼1
	健康障害と治療論	解剖生理学C(生殖・発達・加齢)	1後	1			2					兼1
		生化学	1後	2								兼1
		病態生理学	1後	1			3					兼1
		薬理学	2後	2								兼1
		栄養学	1後	1								兼1
		疾病・病態・治療論A(循環器・呼吸器・消化器)	2前	1			3					兼1
		疾病・病態・治療論B(内分泌・腎・生殖器)	2前	1			3					兼1
	健康心理学	疾病・病態・治療論C(血液・免疫・感染)	2前	1			3					兼1
		疾病・病態・治療論D(精神・小児)	2後	1			3					兼1
		疾病・病態・治療論E(運動器・神経・検査)	2後	1			3					兼1
	社会保健制度と社会環境	臨床心理学	2前	1								兼1
		カウンセリング	2前	1								兼1
健康科学概論		1後	1			1					兼1	
公衆衛生看護学概論		2前	2			1					兼1	
社会保障論		2後	1			1					兼1	
疫学		3前	1			1					兼1	
保健統計学		1後	2			1					兼1	
看護の対象となる人々・地域への看護実践の基盤となる科目群	保健医療福祉行政論(1)	3前	2								兼1	
	保健医療福祉行政論(2)	4前	1								兼1	
	家族社会学	1前	1								兼1	
	看護学概論	1前	2			1					兼1	
	看護理論と看護実践への活用	1前	1			1					兼1	
	看護過程論	2後	1			1	1		2		兼1	
	家族看護論	1後	1			1					兼1	
	看護倫理	1後	1			1					兼1	
	医療リスクマネジメント論	2後	1			1					兼1	
	基礎看護生活援助技術演習	1前	2			2	1		3		兼1	
看護の対象となる人々・地域への看護実践の基盤となる科目群	基礎看護診療援助技術演習	1後	2			2	1		3		兼1	
	看護コミュニケーション論	1前	1			1	1		2		兼1	
	ヘルスアセスメント	2前	2			1	1		2		兼1	
	基礎看護学実習(1)	1前	1			1	1	2	6	6	兼1	
	基礎看護学実習(2)	2後	2			1	1		3	6	兼1	
	地域・在宅看護学概論	1後	2			1					兼1	
	地域包括ケア論	1後	1			1		1			兼1	
	地域・在宅看護援助論(1)	2前	2			1	1	1	1		兼1	
	地域・在宅看護援助論(2)	3前	1			1	1	1	1		兼1	
	地域・在宅看護学実習	3後	2			1	2	2	4		兼1	
グローバルヘルス	地域療養体験実習	1後	1			2		2	4	2	兼1	
	グローバルヘルス看護学概論	2前	2			1					兼1	
グローバルヘルス	グローバルヘルス看護学概論	2前	2			1					兼1	
	グローバルヘルス看護援助論	3前	1			1					兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
専門教育科目	導入科目	基礎ゼミナール	1前	1			8	3	5			
	看護英語コミュニケーション	生命倫理	1前	1			1	1				兼1
		看護英語コミュニケーション(1)	2前	1								兼5
看護英語コミュニケーション(2)		3前	1								兼5	
専門基礎科目	人の心と身体	看護英語コミュニケーション(3)	4前		1							兼5
		解剖生理学A(人体の構造)	1前	1			2					兼1
		解剖生理学B(人体の機能)	1前	1			1					兼1
	健康障害と治療論	解剖生理学C(生殖・発達・加齢)	1後	1			2					兼1
		生化学	1後	2								兼1
		病態生理学	1後	1			3					兼1
		薬理学	2後	2								兼1
		栄養学	1後	1								兼1
		疾病・病態・治療論A(循環器・呼吸器・消化器)	2前	1			3					兼1
		疾病・病態・治療論B(内分泌・腎・生殖器)	2前	1			3					兼1
	健康心理学	疾病・病態・治療論C(血液・免疫・感染)	2前	1			3					兼1
		疾病・病態・治療論D(精神・小児)	2後	1			3					兼1
		疾病・病態・治療論E(運動器・神経・検査)	2後	1			3					兼1
	社会保健制度と社会環境	臨床心理学	2前	1								兼1
		カウンセリング	2前	1								兼1
健康科学概論		1後	1			1					兼1	
公衆衛生看護学概論		2前	2			1					兼1	
社会保障論		2後	1			1					兼1	
疫学		3前	2			1					兼1	
保健統計学		1後	2			1					兼1	
看護の対象となる人々・地域への看護実践の基盤となる科目群	保健医療福祉行政論(1)	3前	2								兼1	
	保健医療福祉行政論(2)	4前	1								兼1	
	家族社会学	1前	1								兼1	
	看護学概論	1前	2			1					兼1	
	看護理論と看護実践への活用	1前	1			1					兼1	
	看護過程論	2後	1			1	1		2		兼1	
	家族看護論	1後	1			1					兼1	
	看護倫理	1後	1			1					兼1	
	医療リスクマネジメント論	2後	1			1					兼1	
	基礎看護生活援助技術演習	1前	2			2	1		2		兼1	
看護の対象となる人々・地域への看護実践の基盤となる科目群	基礎看護診療援助技術演習	1後	2			2	1		2		兼1	
	看護コミュニケーション論	1前	1			1	1		2		兼1	
	ヘルスアセスメント	2前	2			1	1		2		兼1	
	基礎看護学実習(1)	1前	1			1	1	2	5	4	兼1	
	基礎看護学実習(2)	2後	2			1	1		3	6	兼1	
	地域・在宅看護学概論	1後	2			1					兼1	
	地域包括ケア論	1後	1			1		1			兼1	
	地域・在宅看護援助論(1)	2前	2			1	1	1	1		兼1	
	地域・在宅看護援助論(2)	3前	1			1	1	1	1		兼1	
	地域・在宅看護学実習	3後	2			1	2	2	4		兼1	
グローバルヘルス	地域療養体験実習	1後	1			2		2	3	2	兼1	
	グローバルヘルス看護学概論	2前	2			1					兼1	
グローバルヘルス	グローバルヘルス看護学概論	2前	2			1					兼1	
	グローバルヘルス看護援助論	3前	1			1					兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手			
専門教育科目	健康課題をもつ人々への看護実践を展開する科目群	成人看護学概論	2前	2			1					兼1	
		急性期看護援助論	2後	2			1	2	1				
		慢性期看護援助論	2後	2			1	1	1				
		成人看護援助論	3前	1			1	1	2	2			
		急性期看護学実習	3後	3			1	1	1	1	1		
		慢性期看護学実習	3後	3			1	1	1	1	1		
		小児看護学	小児看護学概論	2前	2			1					
			小児看護援助論(1)	2後	1			1	1	1			
			小児看護援助論(2)	3前	1			1	1	1			
		母性看護学	母性看護学概論	2前	2			1					
			母性看護援助論(1)	2後	1			1	1	1			
			母性看護援助論(2)	3前	1			1	1	1			
	高齢者看護学	高齢者看護学概論	2前	2			1						
		高齢者看護援助論(1)	2後	1			1	1	1				
		高齢者看護援助論(2)	3前	1			1	1	1				
	精神看護学	精神看護学概論	2前	2			1						
		精神看護援助論(1)	2後	1			1	1	1				
		精神看護援助論(2)	3前	1			1	1	1				
	看護の統合と探究	災害看護論	3前	1			1					兼1 兼1 兼4	
		感染症と社会	4前	1			1						
		看護政策	4後	1									
		看護管理学	4前	1			1	1					
		チーム医療論	4前	1			2	1	1				
		統合実習	4前	2			3	3	5	6	8		
看護研究方法と看護実践への活用		3前	1			3	2	3					
原簿講読		4前	1			2							
卒業研究	4通	2			11	4	7						
保健師課程科目	公衆衛生看護学支援論A(母子・成人・高齢者保健)	2後			2	1					兼3 兼1 兼2 兼1 兼3		
	公衆衛生看護学支援論B(精神・障害者・難病・感染症)	2後			2	2							
	公衆衛生看護学支援論C(学校保健・産業保健)	3前			1	1							
	公衆衛生看護学支援論D(地域診断・健康教育・地区組織活動)	3前			2	1							
	公衆衛生看護学活動展開論A(個人・家族・集団への保健指導)	2後			1	1							
	公衆衛生看護学活動展開論B(地域診断・健康教育の展開)	4前			2	1							
	公衆衛生看護学活動展開論C(公衆衛生看護学活動の統合と展開)	4後			1	1							
	公衆衛生看護学管理論A(看護管理活動・健康危機管理)	4前			1	1							
	公衆衛生看護学管理論B(保健師活動の実践)	4後			1	1							
	公衆衛生看護学実習(1)	4後			3	1							
	公衆衛生看護学実習(2)	4後			2	1							
	小計(89科目)	-	105	6	18	11	4	7	12	10		兼21	
合計(246科目)	-	119	248	18	11	4	7	12	10	兼113			

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手			
専門教育科目	健康課題をもつ人々への看護実践を展開する科目群	成人看護学概論	2前	2			1					兼1	
		急性期看護援助論	2後	2			1	2	1				
		慢性期看護援助論	2後	2			1	1	1				
		成人看護援助論	3前	1			1	1	2	2			
		急性期看護学実習	3後	3			1	1	1	1	1		
		慢性期看護学実習	3後	3			1	1	1	1	1		
		小児看護学	小児看護学概論	2前	2			1					
			小児看護援助論(1)	2後	1			1	1	1			
			小児看護援助論(2)	3前	1			1	1	1			
		母性看護学	母性看護学概論	2前	2			1					
			母性看護援助論(1)	2後	1			1	1	1			
			母性看護援助論(2)	3前	1			1	1	1			
	高齢者看護学	高齢者看護学概論	2前	2			1						
		高齢者看護援助論(1)	2後	1			1	1	1				
		高齢者看護援助論(2)	3前	1			1	1	1				
	精神看護学	精神看護学概論	2前	2			1						
		精神看護援助論(1)	2後	1			1	1	1				
		精神看護援助論(2)	3前	1			1	1	1				
	看護の統合と探究	災害看護論	3前	1			1					兼1 兼1 兼4	
		感染症と社会	4前	1			1						
		看護政策	4後	1									
		看護管理学	4前	1			1	1					
		チーム医療論	4前	1			2	1	1				
		統合実習	4前	2			3	3	5	6	8		
看護研究方法と看護実践への活用		3前	1			3	2	3					
原簿講読		4前	1			2							
卒業研究	4通	2			11	4	7						
保健師課程科目	公衆衛生看護学支援論A(母子・成人・高齢者保健)	2後			2	1					兼3 兼1 兼2 兼1 兼3		
	公衆衛生看護学支援論B(精神・障害者・難病・感染症)	2後			2	2							
	公衆衛生看護学支援論C(学校保健・産業保健)	3前			1	1							
	公衆衛生看護学支援論D(地域診断・健康教育・地区組織活動)	3前			2	1							
	公衆衛生看護学活動展開論A(個人・家族・集団への保健指導)	2後			1	1							
	公衆衛生看護学活動展開論B(地域診断・健康教育の展開)	4前			2	1							
	公衆衛生看護学活動展開論C(公衆衛生看護学活動の統合と展開)	4後			1	1							
	公衆衛生看護学管理論A(看護管理活動・健康危機管理)	4前			1	1							
	公衆衛生看護学管理論B(保健師活動の実践)	4後			1	1							
	公衆衛生看護学実習(1)	4後			3	1							
	公衆衛生看護学実習(2)	4後			2	1							
	小計(89科目)	-	105	6	18	11	4	7	12	10		兼22	
合計(246科目)	-	119	248	18	11	4	7	12	10	兼116			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページには認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【実】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和4年度】**

- ・担当者変更により、「情報リテラシー」の兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・病気療養休暇取得中の教員と次年度以降の就任予定者がいるため、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授8」、「准教授4」から「准教授3」、「講師7」から「講師5」に変更。
- ・病気療養休暇取得中の教員がいるため、「看護理論と看護実践への活用」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更。
- ・次年度以降の就任予定者がいるため、「基礎看護生活援助技術演習」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更。
- ・次年度以降の就任予定者がいるため、「基礎看護診療援助技術演習」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更。
- ・次年度以降の就任予定者がいるため、「基礎看護学実習(1)」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教5」、「助手6」から「助手4」に変更。
- ・次年度以降の就任予定者がいるため、「地域・在宅看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更。
- ・次年度以降の就任予定者がいるため、「地域包括ケア論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更。
- ・次年度以降の就任予定者がいるため、「地域療養体験実習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」、「助教4」から「助教3」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
81 科目	154 科目	11 科目	246 科目	81 科目 [ - ]	154 科目 [ - ]	11 科目 [ - ]	246 科目 [ - ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{246} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	125,513.44㎡	0㎡	0㎡	125,513.44㎡				
	運動場用地	22,120㎡	0㎡	0㎡	22,120㎡				
	小 計	147,633.44㎡	0㎡	0㎡	147,633.44㎡				
	そ の 他	116,886.25㎡	0㎡	0㎡	116,886.25㎡				
	合 計	264,519.69㎡	0㎡	0㎡	264,519.69㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		86,422.9㎡ ( 86,422.9㎡ )	0㎡ ( 0㎡ )	0㎡ ( 0㎡ )	86,422.9㎡ ( 86,422.9㎡ )				
(3) 教 室 等		講 義 室 70室	演 習 室 95室	実験実習室 138室	情報処理学習施設 14室 (補助職員 0人)	語学学習施設 4室 (補助職員 0人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		看護学部 看護学科		39 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能な ため、図書・学術雑誌・ 視聴覚資料については大 学全体の数。  共用図書及び看護学専門 図書の増加に伴う変更 (4)	
	看護学部	524,868 [126,599] <del>520,985 [127,808]</del> (524,076 [126,560]) <del>(520,985 [127,808])</del>	30,248 [21,689] <del>29,687 [21,624]</del> (30,220 [21,689]) <del>(29,687 [21,624])</del>	22,173 [20,780] <del>22,112 [20,719]</del> (22,173 [20,780]) <del>(22,112 [20,719])</del>	14,902 <del>14,597</del> (14,813) <del>(14,597)</del>	6,318	36		
	計	524,868 [126,599] <del>520,985 [127,808]</del> (524,076 [126,560]) <del>(520,985 [127,808])</del>	30,248 [21,689] <del>29,687 [21,624]</del> (30,220 [21,689]) <del>(29,687 [21,624])</del>	22,173 [20,780] <del>22,112 [20,719]</del> (22,173 [20,780]) <del>(22,112 [20,719])</del>	14,902 <del>14,597</del> (14,813) <del>(14,597)</del>	6,318	36		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
		6,194.41㎡	566	560,000					
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		5,705.91㎡	テニスコート6面、バレーコート4面、ゴルフ練習場1面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は大学全 体、学術奨励寄付と受託 研究を含む。図書費につ いては電子ジャーナル・デー ベース整備費（運用コスト含 む）を含む  他学部との調整による図 書・設備購入費の増額に 伴う変更(4)
		教員1人当たり研究費等	360千円	360千円	図書購入費	0千円	12,800千円 <del>12,200千円</del>	7,100千円 <del>5,000千円</del>	
	共同研究費等	18,500千円	18,500千円	設備購入費	322,000千円	7,000千円 <del>5,500千円</del>	7,000千円 <del>5,500千円</del>		
	学生1人当 り 納付金	第1年次 1,900千円	第2年次 1,700千円	第3年次 1,700千円	第4年次 1,700千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	なし							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	金城学院大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部	4	285	-	1140	-	0.96	0.84	-	-	愛知県名古屋市守山区大森二丁目1723番地	
日本語日本文化学科	4	70	-	280	学士 (日本語日本文化学)	1.10	1.25	-	昭和29	同上	
英語英米文化学科	4	90	-	360	学士 (英語英米文化)	0.92	0.72	-	昭和24	同上	
外国語コミュニケーション学科	4	80	-	320	学士 (外国語コミュニケーション学)	0.85	0.62	-	平成9	同上	
音楽芸術学科	4	45	-	180	学士 (音楽芸術学)	1.01	0.84	-	平成25	同上	
生活環境学部	4	230	-	920	-	1.02	1.03	-	-	同上	
生活マネジメント学科	4	70	-	280	学士 (生活環境学)	0.97	0.92	-	平成4	同上	
環境デザイン学科	4	80	-	320	学士 (生活環境学)	1.07	1.13	-	平成14	同上	
食環境栄養学科	4	80	-	320	学士 (生活環境学)	1.01	1.03	-	平成14	同上	
国際情報学部	4	170	-	700	-	0.99	0.97	-	-	同上	
国際情報学科	4	170	3年次 10	700	学士 (国際情報学)	0.99	0.97	-	平成24	同上	
人間科学部	4	305	-	1250	-	0.96	0.93	-	-	同上	
現代子ども教育学科	4	120	3年次 5	490	学士 (人間科学)	0.96	1.00	-	平成14	同上	
多元心理学科	4	110	3年次 5	450	学士 (人間科学)	1.01	1.05	-	平成23	同上	
コミュニティ福祉学科	4	75	3年次 5	310	学士 (コミュニティ福祉学)	0.88	0.66	-	平成24	同上	
薬学部	6	150	-	900	-	1.02	1.31	-	-	同上	
薬学科	6	150	-	900	学士 (薬学)	1.02	1.31	-	平成17	同上	
看護学部	4	100	-	400	-	1.08	1.08	-	-	同上	
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.08	1.08	-	令和4	同上	
大学全体	-	1240	25	5310	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	金城学院大学大学院					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度
文学研究科	-	21	-	48	-	-	-	-	-	愛知県名古屋 守山区大森二丁目1723番地
国文学専攻(博士課程後期課程)	3	2	-	6	博士 (文学又は学術)	0.16	0.00	-	平成5	同上
英文学専攻(博士課程後期課程)	3	2	-	6	博士 (文学又は学術)	0.00	0.00	-	平成5	同上
社会学専攻(博士課程後期課程)	3	2	-	6	博士 (社会学又は学術)	0.00	0.00	-	平成5	同上
国文学専攻(博士課程前期課程)	2	5	-	10	修士 (文学又は学術)	0.70	0.20	-	昭和43	同上
英文学専攻(博士課程前期課程)	2	5	-	10	修士 (文学又は学術)	0.40	0.40	-	昭和42	同上
社会学専攻(博士課程前期課程)	2	5	-	10	修士 (社会学又は学術)	0.30	0.00	-	昭和63	同上
人間生活学研究科	-	19	-	41	-	-	-	-	-	同上
人間生活学専攻(博士課程後期課程)	3	3	-	9	博士 (学術)	0.00	0.00	-	平成11	同上
消費者科学専攻(博士課程前期課程)	2	8	-	16	修士 (消費者科学)	0.18	0.25	-	平成8	同上
人間発達学専攻(博士課程前期課程)	2	8	-	16	修士 (人間発達学)	1.18	1.12	-	平成8	同上
薬学研究科	4	2	-	8	-	-	-	-	-	同上
薬学専攻(博士課程)	4	2	-	8	博士 (薬学)	1.00	1.00	-	令和4	同上
大学院全体	-	42	-	97	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。  
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教育、研究、管理運営、社会貢献等、教員が関わる全ての領域にかかる能力開発に関する諸活動を行い、学部・研究科FD活動と連携し、活動状況の検証及び改善を行うことを目的とした「大学FD委員会」を設置している。</p> <p>看護学部では、大学FD委員会と連携するため、看護学部FD委員会を設け、その目的を看護学部のFDに関する諸活動を統括し、教員の教育と研究能力を高めることとした。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>大学FD委員会は、学長、副学長、学部長、研究科長、教務部長、学生部長及び学長補佐を構成員とし、都度開催している。構成員は毎回ほぼ全員が出席している。</p> <p>看護学部FD委員会は、学部長、学科主任および専任教員3名を構成員としている。令和4年5月に1回開催し、本年度の年間計画、FD研修会の開催時期、開催回数、研修テーマを検討しているところである。（全員参加）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>大学FD委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大学FD活動の基本方針の提案及び年度課題の提示</li> <li>(2) 大学FDに関する調査、研究</li> <li>(3) 大学FDに関する研究会・ワークショップの開催</li> <li>(4) 各学部・研究科のFD活動の検証</li> <li>(5) 学生による授業評価の実施及び実績の検証</li> <li>(6) 教員の教育環境、研究環境の検証</li> <li>(7) その他、第2条の目的に照らして必要と本委員会が判断すること</li> </ol> <p>看護学部FD委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) カリキュラムの検討及び改善のための提案</li> <li>(2) 授業の内容、方法、シラバスの検討及び改善のための提案</li> <li>(3) FDに関する研究会・セミナー・ワークショップの開催</li> <li>(4) FDに関する調査、研究及び改善のための提案</li> <li>(5) 教員等の研究成果の検討及び改善のための提案</li> <li>(6) 教員等の研究環境の検討及び改善のための提案</li> <li>(7) その他、第2条の目的に照らして必要と判断されること。</li> </ol> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生による授業評価（アンケート）に向けて準備中</li> <li>・ 教育に関する学科別協議会における統一テーマによる議論に向けて準備中</li> <li>・ FD交流集会（FD講演会）において、教育・研究に関する講習会を実施予定</li> </ul>
---

b 実施方法

・ 学生による授業評価（アンケート）

隔年で前期・後期それぞれの全開講授業を評価対象として実施予定である。アンケート結果は学部長、教務部長、学科主任にフィードバックする予定である。

・ 教育に関する学科別協議会における統一テーマによる議論

毎年度全学科が個別の議題について実施する「教育に関する学科別協議会」において、全学統一テーマを設定する。議論の結果は大学FD委員会に報告され、全学で共有する予定である。

・ FD交流集会（FD講演会）

全学教員を対象に「FD交流集会（FD講演会）」を開催する。テーマは大学FD委員会が決定する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 教育に関する学科別協議会における統一テーマによる議論

夏期休暇期間に全学科が原則全教員参加として、教育に関する学科別協議会を開催する予定である。

・ FD交流集会（FD講演会）

人を対象とする研究の倫理に関する講演会を全教員対象に実施した。（参加教員164名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記の実施内容を踏まえて、各教員・学部教授会・大学FD委員会が授業改善に向けた教員の資質向上について検討していくこととしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期及び後期それぞれについて、隔年で実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果にその結果に対する教員の考察を加えたものを、教職員には教職員専用サイトで、学生に対しては学生ポータルサイトに掲載する予定である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

金城学院大学では、学則第2条に基づき、金城学院大学内部質保証推進会議を置き、教育・研究、組織・運営、施設・設備の状況について、恒常的に点検・評価し、改善・向上を進める質保証の取組みを行うことを目的としている。本会議の構成員は、学長、副学長、学部長、大学院研究科長、教務部長、学生部長、学長補佐、図書館長、大学宗教主事、国際交流センター長、マルチメディアセンター長、言語センター長、IR室長、大学事務部の部長（部次長）であり、規程の目的の達成に全学的に取り組んでいる。

看護学部は、今年度開設したばかりであり、設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検評価作業はこれからである。現在は、これらの作業に向けて、全学の内部質保証推進会議を踏まえ、看護学部自己評価委員会を発足させた。その構成員は、学部長、学科主任、教務委員長、学生生活委員長、入試委員長、大学評議会評議員とし、体制を整えた段階である。

看護学部自己評価委員会は、以下のことを行う。

(1) 本学部の教育・研究活動や組織に関する自己点検・評価の実施  
(2) 本学部の自己点検・評価に関する活動目標及び活動報告の作成  
(3) 自己点検・評価の結果、改善が必要とされる事柄について、本学部関係組織に対する改善を指示  
(4) その他、本委員会が必要と認める事項

今後は、看護学部の自己点検評価を行う上で、学部設置の趣旨・目的についての達成状況を評価するためのアセスメントポリシー策定などを検討し、実施にむけた活動をを進める。

完成年度に向けて、設置の趣旨・目的の達成を目指す。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和5年5月末 公表予定

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

本学は、令和3年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（機関別認証評価）を受審し、認定を受けた。看護学部を含む大学評価は、令和9年度に取りまとめ、令和10年度に受審の予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他( ) ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## 金城学院大学FD委員会規程

(2012年3月12日制定)

### (設置)

第1条 金城学院大学（以下「本学」という。）に大学FD委員会（以下「本委員会」という。）を置く。

### (目的)

第2条 本委員会は、本学全体のFD（Faculty Development）（以下「大学FD」という。）に関する諸活動を行い、学部・研究科FD活動と連携し、活動状況の検証及び改善を行うための助言をすることを目的とする。

2 この規程における大学FDとは、教育、研究、管理運営、社会貢献等、教員が関わる全ての領域にかかる能力開発を言う。

### (構成)

第3条 第3条 本委員会は、学長、副学長、学部長、研究科長、教務部長、学生部長、及び学長補佐のうち学長が指名する1名で構成する。

2 本委員会委員の任期は、各役職者の任期とする。

### (委員長)

第4条 本委員会の委員長は、学長をもってあてる。

2 委員長は、本委員会を招集し、議長を務める。

### (小委員会)

第5条 本委員会は、必要に応じて各種の小委員会を置くことができる。

### (陪席)

第6条 本委員会が必要と認めるときは、構成員以外の教職員を陪席させることができる。

### (活動)

第7条 本委員会は、第2条の目的を達成するために、以下の活動を行なう。

- (1) 大学FD活動の基本方針の提案及び年度課題の提示
- (2) 大学FDに関する調査、研究
- (3) 大学FDに関する研究会・ワークショップの開催
- (4) 各学部・研究科のFD活動の検証
- (5) 学生による授業評価の実施及び実績の検証
- (6) 教員の教育環境、研究環境の検証
- (7) その他、第2条の目的に照らして必要と本委員会が判断すること

### (助言)

第8条 本委員会が大学FD活動について改善が必要であると判断した場合は、関係する部署の長に助言をすることができる。

2 前項の助言を受けた部署の長は、できる限り速やかに活動の改善に努め、その状況を本委員会に適宜報告しなければならない。

### (所掌事務)

第9条 本委員会に関する事務は、総務部総務担当がこれを行う。

(施行細則)

第10条 この規程の施行に必要な細則は、別に定める。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、大学評議会の審議に基づき、常任理事会の議決を経てこれを行う。

附 則 (2012年3月12日常任理事会)

この規程は、2012年4月1日から施行する。

## 金城学院大学看護学部FD委員会規程

(2022年4月13日制定)

(根拠)

第1条 この規程は、金城学院大学看護学部教授会規程第12条第2項に基づき、看護学部FD委員会（以下「本委員会」という。）に関して必要な事項を定める。

(目的)

第2条 本委員会は、看護学部（以下「本学部」という。）のFD（Faculty Development）に関する諸活動を統括し、教員、助教及び看護学部助手（以下「教員等」という。）の教育と研究能力を高めることを目的とする。

(構成)

第3条 本委員会は、学部長、学科主任および本学部運営委員会から推薦された専任教員3名、計5名の委員をもって組織する。

(任期)

第4条 運営委員会推薦の委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

第5条 本委員会に委員長を置き、学科主任がその任に就く。

2 委員長は、委員会を招集し、議長を務める。

(活動)

第6条 本委員会は、第2条の目的を達成するために、次の業務を行う。

- (1) カリキュラムの検討及び改善のための提案
- (2) 授業の内容、方法、シラバスの検討及び改善のための提案
- (3) FDに関する研究会・セミナー・ワークショップの開催
- (4) FDに関する調査、研究及び改善のための提案
- (5) 教員等の研究成果の検討及び改善のための提案
- (6) 教員等の研究環境の検討及び改善のための提案
- (7) その他、第2条の目的に照らして必要と判断されること。

(陪席者)

第7条 本委員会が必要と認めるときは、構成員以外の関係教職員を陪席させることができる。

(所掌事務)

第8条 本委員会に関する事務は、本学部事務室がこれを行う。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、教授会の議決を経て、これを行う。

附 則 (2022年4月13日看護学部教授会)

この規程は、2022年4月13日から施行する。